

Easytable パッケージ

@monaqa

目次

1. Easytable パッケージの概要	1
2. Easytable パッケージが提供する機能	1
3. Gallery	2

1. Easytable パッケージの概要

Easytable パッケージは、SATySF_I 上で楽に表を組むためのパッケージです。SATySF_I には既に表を組むためのパッケージがいくつか標準で用意されていますが、いずれも単純な表を描くには少々複雑な構文を要求されるものでした。そこで、「ある程度単純な、しかし汎用性の高い表を、楽に組めるようにする」ための `easytable` パッケージを開発しました。対象を「ある程度単純な表」に絞っていることから察される通り、本パッケージで組める表には以下の制約があります。

- 左揃え、中央揃えなどの条件は列ごとに設定することができるが、セル単位で変更することはできない。すなわち、同一列の中で揃え方を変更することはできない。
- MultiCell (複数の行または列にわたるセル) は使えない。

これらの制約を入れてユーザが設定しなければならないパラメータを最小限に抑えることで、組みやすいインターフェースを実現しています。

2. Easytable パッケージが提供する機能

本パッケージが提供するコマンドは 2 つです。

- `\easytable: [(ruleptn list)?; (cellfmt list); (inline-text list)] inline-cmd:` 2 つの引数 (`cellfmt list` 型, `inline-text list` 型) 及び 1 つのオプション引数 (`ruleptn list` 型) をとります。

- `\list-table: [(ruleptn list)?; (cellfmt list); itemize] inline-cmd`

3. Gallery

ソースコードは同梱の `saty` ファイルの対応する箇所をご覧ください。以下は最も単純な表の例です。左揃え，中央揃え，右揃えの設定は列ごとに設定します。罫線は設定で変えられますが，デフォルトでは表の最初と最後に太い線，そしてヘッダ行（デフォルトでは1行目とみなされます）の下に細い線が入っています。

header1	header2	header3
align left	align center	align right
a	b	c

以下は少し複雑な例です。オプション引数を用いてどこに罫線を引くか指定することができます。また，列幅は指定することができます。なお，表の中身として指定するのはインラインテキストですから，インラインコマンドを用いて書式を変えることができます。数式を入れることもできます。

header1	header2	header3	header4
align left	align center	align right	align center with width 200pt
<i>align left</i>	align center	align right	align center with width 200pt
align left	align center	align right	align center with width 200pt
a	b	c	d
a	b	c	$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$
a	b	c	d

表にある程度長いテキストを入れたくなることもあるでしょう。列幅を指定すれば，長いインラインテキストを折り返すことができます。ただし，複数行に渡るインラインテキストを中央揃えや右揃えにすることは現状できませんから，長いテキストが入る列では左揃えを選択するようにしてください。なお，長い文章を入りたい場合などは，箇条書き形式で表に要素を入れることのできる `\list-table` コマンドが便利です。

Treat	Quantity	Description
Albatross	2.99	On a stick!
Crunchy Frog	1.49	If we took the bones out, it wouldn't be crunchy, now would it?
Gannet Ripple	1.99	On a stick!

以下は単純な例で，なんとなく数学書の最初に載っていそうな表です．これぐらいシンプルな表は，やはりシンプルに書きたいものです．

\mathbf{N}	自然数全体の集合
\mathbf{Z}	整数全体の集合
\mathbf{Q}	有理数全体の集合
\mathbf{R}	実数全体の集合
\mathbf{C}	複素数全体の集合

以下も比較的単純な表です．`easytable` パッケージでは，表の格子点から格子点をつなぐ線をひくことができます．これを用いることで，表の左上によく見るバックスラッシュを引くことができます．

	e	g	h
e	e	g	h
g	g	h	e
h	h	e	g